PHOTOELECTROMAGNETIC RECORDING MEDIUM

Publication number: JP61034745
Publication date: 1986-02-19

Inventor:

KOMATA HIROSHI; MATSUSHIMA MASAAKI;

TAMURA KATSUHIDE; TAKANO KATSUHIKO; SUZUKI

YOSHIAKI; SASAMORI EIZO

Applicant:

CANON KK

Classification:

- international:

G11B11/10; G11B7/24; G11B11/105; G11B7/24;

G11B11/00; (IPC1-7): G11B11/10

- european:

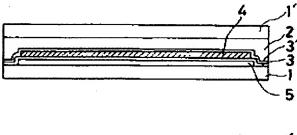
G11B11/105; G11B11/105M

Application number: JP19840154055 19840726 Priority number(s): JP19840154055 19840726

Report a data error here

Abstract of JP61034745

PURPOSE:To obtain the titled photoelectromagnetic recording medium wherein the deterioration in magnetic characteristics due to the corrosion of the recording layer by humidity, etc. is prevented without forming a recording layer and a ultraviolet light- curing resin layer at the outer and inner edge parts of a substrate and by sealing the recording layer and the resin layer with a protective layer. CONSTITUTION:An acrylic ultraviolet light-curing resin layer 5 is formed on a substrate 1 of glass, etc. except the outer edge part, and then a protective layer 3 is coated on the layer 5 by the vapordeposition of SiO2, etc. A magnetic thin-film recording layer 4 of GdTbFeCo, etc. having a large Kerr rotation angle is provided on the protective layer 3 except the outer edge part of the substrate, and a protective layer 3' is formed on the layer 4 by the vapor deposition of SiO2, etc. Then a protective substrate 1' is joined onto the layer 3' through an adhesive layer 2. The protective layers 3 and 3' are not formed preferably on the inner and outer edge parts and the protective layers 3 and 3' are also covered with the adhesive layer 2. Consequently, since the layers 4 and 5 are not exposed to the inner and outer edges, the corrosion of the layer 4 due to its hydroscopicity is prevented, and the generation of cracks in the layers 3 and 4 due to the volume change of the layer 5 is also prevented.





Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THS PAGE LEFT BLANK

⑩ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭61-34745

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

四公開 昭和61年(1986)2月19日

G 11 B 11/10

8421-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

砂発明の名称 光学的記録媒体

②特 願 昭59-154055

❷出 願 昭59(1984)7月26日

砂発 明 小 俣 宏 志 者 明 松 島 正 砂発 田 村 朥 秀 個発 明 奁 髙 朥 個発 明 明 砂発 鉿 木 良 24 泴 ⑫発 明 笹 キャノン株式会社 创出 願 砂代 理 弁理士 若 林

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

呵 細 3

1. 発明の名称

光学的記録媒体

2.特許請求の範囲

- (1) 落板上に少なくとも記録層、紫外線硬化型樹脂層および保護層を具備する光学的記録媒体において、記録層および紫外線硬化型樹脂層を基板の外線部及び/又は内線部には形成せず、前辺保護層にて対止したことを特徴とする光学的記録媒体。
- (2) 前記記録層および紫外線硬化型樹脂層を對止する保護層が基板の外線部及び/又は内線部には形成されないことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の光学的記録媒体。

3.発明の詳細な説明

(技術分野)

木発明は、光ビームにより記録・再生を行うことが可能な光学的記録媒体に関するものである。

〔従来技術〕

従来より、光ディスクに用いられる光学的記録

媒体としては、希土類-遷移金属の合金薄膜・非品質から結晶質への相転移を利用したカルコゲン化合物等の超元性酸化物酸膜、ヒートモード記録媒体、サーモブラスチック記録媒体等が知られている。例えば、希土類-遷移金属の合金醇膜で形成される光磁気記録媒体としては、MnBi、MnCuBiなどの多結晶薄膜、GdCo、GdFe、7bFe、DyFe、GdTbFe、TbDyFeなどの非晶質障膜、Gd1Gなどの単結品薄膜などが知られている。

特開昭61-34745(2)

光磁気記録媒体であることを見い出した。

しかしながら、GdTbFeをはじめとして、一般に非品質磁性体は耐腐食性が劣り、湿気を有する雰囲気中では腐食されて磁気特性の劣化を生じるという欠点がある。この欠点は、光磁気記録媒体のみならず、上述した光学的記録媒体の共通の護題である。

このような欠点を除くために、従来から、非品 質 磁性体の記録磁性層の上に保護層を設けたり、 あるいは不活性ガスによって記録磁性層を封じ込 めたエアーサンドイッチ構造や貼り合わせ構造の ディスク状光磁気記録媒体が提案されている。

光磁気記録媒体の腐食の原因は、基板の汚れ、 媒体形成後のハンドリング等による油、汚れの付 充、罹寒、酸素等であると考えられる。従った、 光磁気記録媒体の腐食は、基板の端面からおこ り、広がっていく傾向がある。そこで従来より、 悲板の全面に形成された光学的記録層の基板端部 に形成された部分は、記録器として開きれるごと とはなかった。しかし、記録層の一部に腕食が始 まると、その箇所に同部電池が形成され、 その周辺の腐食が速まり最終的には記録部まで腐食が進行してしまい、記録層の基板端面に形成された部分を記録部として使用しないことは、耐腐食性の向上という点からは、 何ら意味のないものである。

そこで木発明らは、基板の外縁部及び/又は内 ・緑部の一部又は全部に光学的記録暦を形成しない ことを特徴とする光学的記録媒体を発明し、出願 した(特顧明58-116157号)。

しかし、第2図に示すように実内調を形成するための紫外線硬化型樹脂層 5 が落板 1 の端部まである構成の記録媒体においては、紫外線硬化型樹脂層 5 の端部より水分が侵入し、結局は記録層 4 の買食がおこる。

さらに、紫外線硬化型樹脂層 5 が水分を吸収して体積変化をおこして保護層 3 、記録暦 4 にクラックを発生させることもある。

なお、図中、1 は基板、1 は保護用基板、2 は 接着層、3 、3 は保護層、4 は記録層、5 は紫外

線硬化型樹脂層である。

(発明の月的)

木発明の目的は記録部の解食が実質的に防止された光学的記録媒体を提供することにある。

(発明の開示)

この目的は次の光学的記録媒体により達成され

すなわち、基板上に少なくとも記録層、紫外線 硬化型樹脂層および保護層を具備する光学的記録 媒体において、記録層および紫外線硬化型樹脂層 を基板の外線部及び/又は内線部には形成せず、 前起保護層にて封止したことを特徴とする光学的 記録媒体である。

特に打ましくは、前記記録層および紫外線硬化型制版層を封止する保護層が基板の外線部及び/ 又は内線部には形成されない光学的記録媒体である。

すなわち、第5回に示すように保護層で、記録 暦4及び紫外線硬化型機能層5を封止するが基板 の端までは保護層3を形成せず、接着層2でこれ らの暦をおおうような構造が特に好ましい。 これによってハンドリング等による汚れがつきにくくなり、 また程度程度等の影響も受けにくくなることにより耐腐食性が向上する。

木兔明は例えば荔板の外縁部、 菇板の外縁部と 内縁部、 荔板の内縁部には、 記録層および 紫外線 硬化型側脂層を形成せず、 保護層で封止する等の 形で実施する。

保護暦としては、 SiO, SiN 字の無機誘電体、 Ti. Cr. Zn, AI, Siなどの金属、CoFzn などの有 機系防湿剤が好ましい。

 ₹ **る** .

更に 基板の形状については、円、ドーナッ状、正力形、 及方形、 多角形等いかなる形状の 基板にも 適用できる。 また、 衷面を多孔質層に加工した 出き込み 側 基板を用いることもできる。 ドーナッ 状 拡板を用いた場合の実施 無様を 第 3 図に示す。

以下に実施例を示して木発明を更に具体的に設 明する。

実施例 1

第 1 図に示した構造の光学的記録媒体を次のようにして製作した。

直径 200mm、厚さ 1.1mmのガラス基板 1 上の外級部 5 mmを除いた部分に、アクリルモノマー(商品名:701A 製造元:新中村化学工業株式会社)に光重合開始剤ベンゾインイソプロビルエーテルを 2 %加え 0.1mm厚に塗が後、紫外線を照射し、硬化させ紫外線硬化型樹脂 5 を作成した。紫外線硬化型樹脂 5 をおおうように、真空蒸着装置にて、保護層 3 として SiOを膜厚1400A で蒸着した。 次にスパッタリングにより GdTbFeCoの磁性

1 と回様に製作した。但し第5 図のものは保護層3 ,3 を 花板外線部には設けずに接着層2 で限っている。第5 図に示した構造の光熱磁気配録媒体を実施例1 と回様に耐久試験を行った。耐久試験の結果は第1 図の構成のものと回じで差はなかったが接着槽2 が基板1 と保護用基板1 を直接接着することができまれた。

(. 図面の簡単な説明

第1図、第3図、第5図は未発明の光学的記録 奴体であり、第2図は従来の光学的記録媒体であ り、第4図は未発明及び従来の光学的記録媒体の 耐久以験の結果である。

- 1'…保腊用荔板
- 2 … 按着语
- 3 . 3' … 保護層
- 4 … 記録階
- 5 … 紫外線硬化型樹脂層

特開昭61-34745(3)

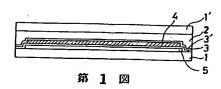
商股記程階 4 を基板の外線部 5 mmを除いた部分に 300 A 厚に形成した。磁性確膜記録階をおおうように、真空蒸着装置を用いて蒸着により保護階 として SiOを膜厚 1400 A で蒸着した。この記録 層 付きのガラス板と、保護用のガラス板 1'とをを接着 剤 (商品名:ボンドEセットM;発売元:コニシ 剤 (市品名:ボンドEセットM;発売元:コニシ 神) で貼り合わせて光熱磁気記録媒体を製度 た。この光熱磁気記録媒体を45℃、相対湿度 35 %の恒温 恒 程槽に入れて耐久試験を1000時間行 なった後、保磁力 (Hc) の変化を試験前の保磁力 (Hco) に対する比率で求めた。

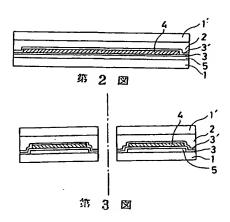
比較のため第2図に示した構造の光熱磁気記録 媒体を実施例と同じ材料、膜厚、作成法にて製作 した。実施例と同様に耐久試験を行なった。

耐久試験の結果を第4図に示す。 (a) は実施例1の結果であり、(b) は比較例の結果である。実施例1の方が比較例に比べ耐久性に優れていた。

实施例 2

第5図に示した構造の光学的記録媒体を実施例





特開昭61- 34745 (4)

